

歌壇

大下 一真 選

特選

公園の夜の虫の音は黒黒と揺るる大樹の上からも降る

本駒込 岡本 千晶

防衛や抗戦よりも非戦です殺し合うため生まれていない

音 羽 黒坂 進

藪陰にまるき山くちなし梔子二つ三つ一途な青春おもふこの花

本駒込 唐木 よし子

入選

卯の花やかぼちやの煮付けうまいと言う夫つまにほっこり秋風の吹く

水道 菅井 茂子

家を這う白蛇は守り神と言い疎開の里の祖母やさしかり

向 丘 高野 伸子

白寿来て藪下通りの汐見坂遠まわりするわが家への道

千駄木 石井 禮子

日まわりの造花を抜きてりんどうを挿せば小部屋に訪れる秋

大 塚 小出 風沙子

ミンミンの時雨降るなか控え目に一声加わるホーシツクツク

千駄木 上杉 紀世子

初めての釣りは鯊釣り釣り上げて憐れを感じずその小ささに

千 石 菊地 正矩

雲重く雷鳴り響くその奥の小さな青空わたしの希望

白 山 中西 勝

令和4年度 第3回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

松澤 雅世 選

特選

紅楓水面ほろほろいろは歌

小石川 福富 貞子

二拍子で月夜を渡る飛石や

本駒込 関口 けい子

角川も源流は水澄めり

春日 二村 吉光

入選

ことごととポトフのように生き終しまう

音羽 黒坂 進

につこりと笑ふ栗より拾あひ上ぐ

小石川 島村 若子

みちのくの風は転調天の川

千駄木 仲 綾子

音立て、落ちたばかりの銀杏拾う

西片 中島 多津子

空き家朽ち野原となりて秋の虫

白山 中西 勝

いつの間に眠ってゐたり風さやか

小石川 長尾 きょう子

縄電車行きつ戻りつ穴まどい

向丘 丸岡 正児